

た一方で、小学校施設環境改善事業が皆減となったことなどにより、前年度対比17.5%の減となりました。237ページをお開き願います。3項中学校費は、支出済額2億3,485万7,716円で、1目学校管理費で、237ページになりますが、備考欄の003学校施設管理事業の増があったものの、中学校施設環境改善事業が皆減となり、前年度対比24.4%の減となりました。243ページをお開き願います。4項社会教育費は、支出済額9億818万4,132円で、少し飛びまして、253ページになりますが、6目市民文化会館費の備考欄、002市民文化会館施設管理事業、256ページになりますが、9目歴史的建造物利活用推進費の備考欄、001長井小学校第一校舎利活用事業の増などにより、前年度対比20.0%の増となりました。257ページをお開き願います。5項保健体育費は、支出済額2億1,581万54円で、2目体育施設費の、261ページの備考欄になりますが、005その他体育施設管理運営事業の減などにより、前年度対比38.4%の減となりました。

265ページをお開き願います。11款災害復旧費は、支出はございませんでした。

12款公債費は、支出済額10億9,476万4,122円で、前年度対比5.3%の増、歳出総額に占める構成比率は7.4%となりました。

266ページをお開き願います。13款予備費は、支出がございませんでした。

以上で、歳出合計は148億1,371万2,179円となり、前年度対比0.5%、7,136万242円の減となりました。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げますので、恐れ入りますが、353ページをお開き願います。左の表になりますが、区分1の歳入総額は152億9,081万4,447円、2の歳出総額は148億1,371万2,179円で、この結果、3の歳入歳出差引額は4億7,710万2,268円となりました。また、5の実質収支額は、4の

翌年度へ繰り越すべき財源8,024万2,166円を差し引きました3億9,686万102円となりました。

以上が平成30年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成30年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

金子 剛市民課長。

○金子 剛市民課長 おはようございます。

平成30年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要を説明いたします。

なお、平成30年度から国民健康保険制度改正によって会計区分が大きく変更しておりまして、前年度との比較ができない科目がありますので、ご了承願います。

それでは、事項別明細書により説明いたしますので、歳入歳出決算書の267ページをお開きください。歳入から説明いたします。1款国民健康保険税は、調定額5億6,730万3,234円に対し、収入済額は前年度対比4.9%減の5億2,133万7,846円となっています。調定額のうち830万9,390円を不納欠損処分し、収入未済額は3,765万5,998円となりました。

268ページをお開きください。2款使用料及び手数料の収入済額は、前年度対比2.2%減の29万6,400円となっています。

269ページをごらんください。3款国庫支出金の収入済額は、災害臨時特例補助金の1万5,000円となっています。

4款県支出金の収入済額は16億5,595万6,976円となり、1項県補助金、1節普通交付金は16億2,540万2,976円、2節特別交付金（保険者努力支援制度分）は1,025万6,000円となりました。

270ページをお開きください。5款財産収入の収入済額は、前年度対比70%減の3万7,500円となりました。

6 款繰入金の収入済額は、前年度対比6.5%減の1億5,270万9,856円となり、1 項1 目保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）が8,296万6,110円、保険基盤安定繰入金（保険者支援分）が4,672万2,062円などとなりました。

272ページをお開きください。7 款繰越金の収入済額は、前年度対比66.1%増の1億7,440万3,133円となりました。

8 款諸収入の収入済額は、435万5,081円となりました。

274ページをお開きください。以上により、歳入合計では、調定額25億5,518万3,615円に対し、収入済額は前年度対比14.2%減の25億911万1,792円で、収入率は98.2%、調定額のうち830万9,390円を不納欠損処分し、収入未済額は3,776万2,433円となりました。

次に、歳出でございます。275ページをお開きください。1 款総務費の支出済額は、前年度対比0.7%減の1,694万9,763円で、不用額は140万5,237円となりました。1 項1 目一般管理費が1.1%減の1,349万858円です。

276ページをお開きください。2 款保険給付費の支出済額は、前年度対比1.7%減の16億3,000万9,832円で、不用額は7,183万5,168円となりました。1 項療養諸費は、1 目一般被保険者療養給付費が13億8,158万3,201円、277ページをお開きください。2 目退職被保険者等療養給付費が2,771万8,885円、3 目一般被保険者療養費が1,108万5,171円などとなりました。2 項高額療養費では、1 目一般被保険者高額療養費が4.4%増の1億9,136万9,066円。278ページをお開きください。2 目退職被保険者高額療養費が642万5,615円などとなります。3 項移送費は、支出がございません。279ページをお開きください。4 項出産育児諸費は11件ございまして、1.2%増の495万2,310円です。5 項葬祭諸費は34件ございまして、8.1%減の170万円です。

3 款国民健康保険事業費納付金は、制度改正

により新設の納付金です。支出済額は、6億1,864万8,088円となりました。1 項医療給付費分は4億2,198万2,180円、2 項後期高齢者支援金等分は1億4,624万7,120円、280ページになりますが、3 項介護納付金分は5,041万8,788円となりました。

4 款共同事業拠出金は、51万8,000円です。

5 款財政安定化基金拠出金は、新設で、支出はございませんでした。

281ページをお開きください。6 款保健事業費の支出済額は、3,251万1,727円となりました。1 項特定健康診査等事業費は1,944万6 円、2 項保健事業費は1,307万1,721円となります。

282ページをお開きください。7 款基金積立金は、2,000万円を積み立ていたしました。財政調整基金積立金の合計は、2億7,000万円となっております。

283ページをお開きください。8 款公債費の支出はありませんでした。

9 款諸支出金は、3,592万8,976円となりました。

10 款予備費からの支出はございません。

以上により、歳出合計では、予算現額24億4,363万円に対し、支出済額は前年度対比14.4%減の23億5,404万8,904円で、予算執行率は96.3%、不用額は8,958万1,096円となりました。

353ページをお開きください。国保会計の歳入合計の収入済額25億911万1,792円から、歳出合計の支出済額23億5,404万8,904円を差し引いた残額1億5,506万2,888円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、平成30年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について説明いたしますので、341ページをお開きください。

まず、歳入についてご説明いたします。1 款後期高齢者医療保険料は、調定額2億2,724万6,839円に対し、収入済額は前年度対比2.7%増

の2億2,419万969円で、収納率は98.7%となりました。調定額のうち85万5,100円を不納欠損処分し、収入未済額は220万770円となりました。

2款使用料及び手数料の収入済額は、5万6,500円です。

3款国庫支出金は、電算システム改修の補助金で43万7,000円です。

342ページをお開きください。4款繰入金の収入済額は、前年度対比0.3%減の1億1,236万3,631円で、1目の事務費繰入金が2,137万4,106円、2目の一般会計繰入金が9,098万9,525円となっています。

5款繰越金の収入済額は、前年度対比14.4%減の498万5,711円、6款諸収入の収入済額は8万4,400円となりました。

344ページをお開きください。以上により、歳入合計では、調定額3億4,517万4,081円に対し、収入済額は前年度対比1.4%増の3億4,211万8,211円で、収入率は99.1%、調定額のうち85万5,100円を不納欠損処分し、収入未済額は220万770円となっています。

次に、歳出についてご説明いたします。345ページをお開きください。1款総務費の支出済額は、前年度対比6.9%増の536万2,705円で、不用額は30万6,295円となりました。1項総務管理費の支出済額は86万3,762円で、2項徴収費は449万8,943円となりました。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の支出済額は、保険料等負担金が2億2,387万752円、保険基盤安定制度分が9,098万9,525円、事務費負担金が1,650万201円で、合計では前年度対比1.4%増の3億3,136万478円となりました。

3款諸支出金の支出済額は、11万600円となりました。

347ページをお開きください。以上により、歳出合計では、予算現額3億3,739万1,000円に対し、支出済額は前年度対比1.4%増の3億3,683万3,783円で、予算執行率は99.8%、不用

額は55万7,217円となりました。

歳入合計の収入済額3億4,211万8,211円から、歳出合計の支出済額3億3,683万3,783円を差し引いた残額528万4,428円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

以上でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成30年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成30年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

蒲生浩美上下水道課長。

○蒲生浩美上下水道課長 おはようございます。

それでは、平成30年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の18ページをお開き願いたいと思います。歳入でございますが、収入済合計額は13億380万6,632円で、前年度と比較して9,978万2,006円、8.3%の増となっております。歳入の主な項目といたしましては、負担金、使用料及び手数料、国庫補助金、一般会計繰入金、市債などでございます。

19ページにつきましては、歳出でございます。支出済合計額は13億330万1,659円で、前年度と比較して1億228万1,398円、8.5%の増となっております。歳出の項目といたしましては、公共下水道事業費、公債費でございます。

20ページになりますが、こちらは、歳入歳出差引残額でございます。50万4,973円となりまして、こちらを翌年度へ繰り越しさせていただくものでございます。

それでは、事項別明細書にてご説明申し上げますので、申しわけございません、285ページをお開き願います。

それでは、歳入からご説明申し上げます。1款1項1目下水道受益者負担金につきましては、

収入済額547万9,950円で、前年度対比13.6%増加してございます。うち現年度分につきましては545万4,950円で、収納率につきましては、前年度対比0.9ポイント減の98.8%となっております。

2款1項1目下水道使用料の収入済額は、前年度対比2.1%増の3億1,985万9,121円となりました。うち現年度分につきましては3億1,634万4,469円で、こちらの収納率につきましては、前年度対比0.5ポイント増の99.0%となっております。また、滞納繰越金のうち95万8,562円を不納欠損処分とさせていただきます。2目の下水路使用料につきましては、収入済額が38万8,670円。

286ページをお開き願います。3款1項1目下水道事業費国庫補助金の収入済額は、前年度対比65.5%増の2億2,167万8,000円で、内訳につきましては、社会資本整備総合交付金6,050万円、防災・安全交付金1億6,117万8,000円で、防災・安全交付金のうち2,750万円は、前年度からの繰越明許分となっております。

4款1項1目一般会計繰入金につきましては、収入済額が5億3,114万円でございます。元利償還金の減少などによりまして、前年度対比14.1%の減となっております。

5款1項1目繰越金につきましては、収入済額300万4,365円で、うち250万円は前年度からの繰越明許分となっております。

287ページをごらん願います。6款3項1目雑入につきましては、消費税還付金及び公共下水道管理センター更新工事に伴う撤去品売払収入で、245万3,426円でございます。

7款1項1目下水道事業債につきましては、収入済額2億1,980万円で、うち2,000万円につきましては、前年度からの繰越明許分となっております。事業費の増加に伴いまして、繰越分も含め、前年度対比67.5%の増となっております。

289ページをごらんいただきたいと思っております。歳出につきましてご説明申し上げます。1款1項公共下水道事業費につきましては、支出済額6億3,305万7,802円で、前年度対比37.1%、1億7,128万1,210円の増、予算現額に対する執行率は98.2%となっております。うち1目公共下水道総務費につきましては15.5%減の4,979万5,033円で、職員人件費、消費税納税額等が減少してございます。290ページをお開き願います。2目公共下水道事業費につきましては、支出済額4億7,754万9,319円で、前年度対比56.8%の増となっております。主なものといたしまして、委託料では公共下水道管理センター改築更新工事業務委託料、こちらは電気設備工事分が1億8,828万円、うち5,000万円は前年度からの繰越明許分となります。また、建築工事分は9,644万8,000円でございます。291ページをごらん願います。工事請負費では、下水道未普及エリアの汚水管路布設工事として堀切南台線並びに五十川袋地区に係る工事請負費が増加してございます。292ページをお開き願います。3目管渠管理費につきましては、支出済額1,818万3,892円で、対前年度比13.8%の増となっております。主なものといたしまして、マンホールポンプ点検整備業務委託料、下水道取付管補修工事、マンホール等補修工事、雨水幹線浚渫工事などの工事請負費等でございます。4目の管理センター費につきましては、支出済額8,752万9,558円で、前年度対比6.4%増となっております。主なものといたしまして、薬品などの消耗品費、処理施設の光熱水費。293ページをごらん願います。脱水ケーキ処分委託料、管理センター運転・保守点検業務委託料などでございます。

2款1項公債費につきましては、支出済額6億7,024万3,857円で、前年度から9.3%減少してございます。

以上が平成30年度長井市公共下水道事業特別

会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成30年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

恐れ入ります。また、戻っていただきまして、26ページをお開き願いたいと思います。歳入でございますが、収入済額合計は1億5,479万3,573円で、前年度と比較して2,759万8,972円、15.1%の減となっております。前年度より国庫補助金、県補助金が皆減となっております。

27ページをごらん願います。歳出でございますが、支出済額合計は1億5,428万5,230円で、前年度と比較して2,751万7,081円、15.1%の減となっております。予算現額に対する執行率は98.1%となっております。歳出の項目といたしましては、農業集落排水事業費及び公債費でございます。

28ページでございますが、こちらは、歳入歳出差引額になります。50万8,343円となり、翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

事項別明細書によりご説明申し上げますので、恐れ入ります、299ページをお開き願いたいと思います。歳入でございますが、1款1項分担金につきましては、収入済額135万円で、前年度対比450%の増加となっております。今泉地内の分譲地8区画外1件の加入がございました。

2款1項使用料及び手数料につきましては、収入済額5,000万3,339円で、前年度対比3.3%の減となりました。うち1目の施設使用料の現年度分は4,972万379円で、3.3%の減少でございます。収納率は、前年度対比0.2ポイント減の99.1%となっております。また、滞納繰越分のうち19万2,377円を不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

3款1項一般会計繰入金につきましては、収入済額1億95万円、前年度対比14%の減となっ

てございます。

300ページをお開き願います。4款繰越金につきましては、収入済額59万234円で、前年度からの繰り越しでございます。

5款諸収入は、ございませんでした。

301ページをごらん願います。6款市債につきましては、公営企業会計適用債となっております。

302ページをお開き願います。歳出につきましてはご説明申し上げます。1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額4,935万8,995円で、前年度対比34%の減少となっております。内訳では、1目の農業集落排水事業総務費につきましては、消費税納付税額の増加等により9.1%の増。303ページをごらん願います。2目の今泉排水施設運営費につきましては、国庫補助事業や大規模な建設改良事業がなかったことから、50.9%の減少となっております。304ページをお開き願います。3目大久保排水施設運営費につきましては、11.8%の増加で、施設の修繕料が増加していることによるものでございます。

2款公債費につきましては、1億492万6,235円で、前年度対比2%の増となっております。

以上が平成30年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成30年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

申しわけございません。また、40ページにお戻りいただきたいと思います。歳入でございますが、収入済額合計は9,639万2,291円で、前年度と比較し1,918万2,265円、16.6%の減となりました。新規設置基数の減少に伴い、分担金、県支出金が減少し、また、国庫補助金では前年度の年度間調整分も加味され、減少したことから、減少分は市債の増額で対応したところでございます。

41ページをごらんください。歳出でございます。支出済額合計は9,588万9,579円で、前年度と比較し1,914万891円、16.6%の減となっております。

42ページでございますが、歳入歳出差引残額50万2,712円となりまして、翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

事項別明細書によりご説明申し上げますので、333ページをお開き願いたいと思います。歳入でございますが、1款分担金及び負担金の収入済額は、前年度対比43%減の414万円となりました。26件の新設分の浄化槽事業分担金でございます。

2款使用料及び手数料につきましては、収入済額4,356万393円で、主な内容は、1項1目浄化槽使用料の現年度分が4,353万9,043円で、こちらの収納率は99.7%となっております。

3款国庫支出金につきましては、収入済額が709万7,000円で、前年度対比75.5%の減となりました。設置基数が26基と減少したことに加え、前年度は補助金の年度間調整により増額調整された補助金を受け取っておりましたので、今年度、その差額の一部について減額調整されて補助金を受領しているところでございます。

334ページをお開き願います。4款1項1目特定地域生活排水処理事業費県補助金につきましては、収入済額88万円、前年度対比49.4%の減となっております。

5款1項一般会計繰入金につきましては、収入済額1,623万円で、前年度対比21.1%の増となっております。

6款繰越金につきましては、54万4,086円で、335ページをごらん願います。7款3項雑入は、収入済額84万812円、こちらは、消費税の還付金でございます。前年度対比52.2%の減となっております。

8款1項1目下水道事業債につきましては、収入済額2,310万円で、前年度対比12.1%の増

となっております。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。337ページをごらん願います。1款浄化槽事業費につきましては、支出済額8,042万6,985円で、前年度対比19.8%の減となりました。1目浄化槽事業総務費につきましては3.6%の増で、浄化槽点検等の手数料、浄化槽保守点検清掃業務委託料等の浄化槽管理費が浄化槽設置基数の増加に伴い増加してございます。338ページをお開き願います。2目浄化槽事業費は、36.9%の減となりました。こちらは、設置基数が減少したことにより、工事請負費が減少したことによるものでございます。

2款公債費の支出済額は、前年度対比4.7%の増、1,546万2,594円となっております。

以上、特別会計3件の決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 それでは、平成30年度山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要につきまして説明いたします。

決算書戻っていただきまして、22ページをお開きください。歳入でございますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金でございまして、前年度対比6.3%減の1億6,327万3,411円となりました。調定額、収入済額は同額でございます。

続きまして、23ページをごらんください。歳出でございますが、山形鉄道助成費及び基金積立金合計で、支出済額は前年度対比6.3%減の1億6,327万3,411円となりました。

続きまして、事項別明細書により、主な項目を説明いたします。決算書295ページをお開きください。歳入でございます。1款1項1目山

形鉄道運営助成費負担金につきましては、予算現額6,157万2,000円で、収入済額も同額でございます。長井市を除く県及び1市2町の負担金でございます。前年度と同額でございます。

3款1項1目一般会計繰入金につきましては、予算現額2,242万8,000円で、収入済額も同額でございます。これは長井市の運営負担分でございます。前年度と同額でございます。

次の296ページをごらんください。同じく3款の2項1目基金繰入金でございますが、当初予算7,446万1,000円に助成基金補助金の不足額480万8,000円を基金から繰り入れいたしまして、予算現額は7,926万9,000円、収入済額も同額で、前年度対比9.5%の減でございます。

次に、297ページをごらんください。歳出でございます。1款1項1目の運営助成費でございますが、山形鉄道運営助成基金補助金といたしまして、当初予算7,446万1,000円に480万8,000円を増額補正いたしまして、予算現額は7,926万9,000円、支出済額も同額で、前年度対比9.5%の減でございます。

次に、2款1項1目基金積立金ですが、予算現額は8,405万円でございます。支出済額は前年度対比3.1%減の8,400万4,411円で、基金に積み立てしております。

以上が山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

小林克人健康課長。

○小林克人健康課長 平成30年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書30ページをお開き願います。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は、前年度対比130万9,839円、3.8%増の3,580万7,429円

でございます。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、一般会計繰入金、繰越金及び雑入でございます。

次に、31ページをごらんください。歳出といたしましては、事業費としての支出済額が前年度対比130万9,992円、3.8%増の3,570万7,184円でございます。

32ページになりますが、歳入歳出の差引残額10万245円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。307ページをお開き願います。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,720万4,533円でございます。前年度に比べ212万247円、1.2%の増となっております。

2款1項1目利用料は、収入済額155万4,198円でございます。内訳は、介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。こちらは、前年度に比べ17万466円、12.3%の増でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、収入済額1,692万9,000円でございます。前年度に比べ108万7,000円、6.9%の増でございます。

4款1項1目繰越金は、10万398円でございます。

308ページをお開き願います。5款諸収入、1項1目雑入は1万9,300円でございます。国保協力金などがございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。309ページをごらんください。1款1項事業費、1目訪問看護事業費、支出済額3,570万7,184円の内訳でございますが、2節、3節、4節につきましては、職員の給料、職員手当等共済費でございます。7節賃金441万6,325円は、定時補助職員の看護師1名、事務職員1名及びパート看護師2名の雇い上げ賃金でございます。9節旅費1万4,000円は、職員の出張旅費でございます。

ます。11節需用費46万2,711円は、消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費でございます。12節役務費は48万9,234円でございます。郵便料、電話料、通信料、衣服クリーニング等手数料及び保険料でございます。14節使用料及び賃借料117万1,136円は、訪問看護支援ソフトのリース料、自動車のリース料などでございます。15節工事請負費3万1,320円は、事務室防火用カーテン取り付け工事費でございます。18節備品購入費5万5,242円は、血中酸素飽和度測定機器及び業務用携帯電話でございます。310ページをお開き願います。19節負担金補助及び交付金962万8,217円は、訪問看護ステーション連絡協議会年会費、置賜広域病院企業団からの看護師派遣に係る訪問看護ステーション運營業務負担金などでございます。

以上が平成30年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

梅津義徳福祉あんしん課長。

○梅津義徳福祉あんしん課長 平成30年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の34ページをお開き願います。最初に、款ごとの決算額について、歳入からご説明いたします。1款介護保険料は、調定額6億5,998万1,376円に対し、収入済額6億5,404万4,722円で、収入済額総額に占める介護保険料の割合、以下各款ごと構成比率と申し上げます、は20.1%、収納率は99.1%となっております。調定額のうち167万4,930円を不納欠損処分し、収入未済額は426万1,724円となっております。予算現額と収入済額との比較では、487万9,722円の増となりました。

2款使用料及び手数料は、収入済額8万6,700円で、予算現額に対し1万6,700円の増となりました。

3款国庫支出金は、収入済額8億2,212万3,289円で、予算現額に対し1,557万289円の増となり、構成比率は25.3%となりました。

4款支払基金交付金は、収入済額8億2,453万8,268円で、予算現額に対し1,197万7,732円の減となり、構成比率は25.4%となりました。

5款県支出金は、収入済額4億5,250万7,331円で、予算現額に対し964万8,669円の減となり、構成比率は13.9%となりました。

6款財産収入は、収入済額13万8,243円で、予算現額に対し22万6,757円の減となりました。

7款繰入金は、収入済額4億2,636万4,927円で、予算現額に対し3,598万73円の減となり、構成比率は13.1%となりました。

8款繰越金は、収入済額5,716万5,942円で、予算現額に対し650万2,942円の増となり、構成比率は1.8%となりました。

9款諸収入は、収入済額1,043万9,853円で、予算現額に対し20万2,853円の増となりました。

歳入合計は、調定額32億5,334万5,929円に対し、収入済額は前年度対比0.047%減の32億4,740万9,275円で、収入率は99.8%、予算現額に対し3,066万725円の減となりました。

次に、36ページをごらんください。歳出についてご説明いたします。1款総務費の支出済額は3,356万3,307円、不用額294万9,037円で、支出済総額に占める総務費の割合、以下各款ごと構成比率と申しますが、1.1%となりました。

2款保険給付費の支出済額は29億909万1,515円、不用額5,860万1,485円で、構成比率は91.5%となりました。

3款地域支援事業費の支出済額は1億8,471万3,793円、不用額2,332万6,207円で、構成比率は5.8%となりました。

37ページに入りまして、4款基金積立金の支

出済額は13万8,243円、不用額は488万6,757円となりました。

5款諸支出金の支出済額は5,080万9,547円、不用額は15万3,453円で、構成比率は1.6%となりました。

6款予備費からの支出はございませんでした。

歳出合計は、予算現額32億7,807万円に対し、支出済額が前年度対比0.42%減の31億7,831万6,405円で、不用額は9,975万3,595円、予算執行率96.9%となりました。

歳入合計額32億4,740万9,275円から、歳出合計額31億7,831万6,405円を差し引き、38ページをごらんいただきまして、6,909万2,870円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

続きまして、事項別明細書によりご説明を申し上げます。311ページをお開き願います。1款1項介護保険料は、収入済額が前年度対比7.0%増で6億5,404万4,722円となり、第1号被保険者保険料です。

2款1項手数料は、収入済額が前年度対比9.2%減で8万6,700円となり、介護保険料の督促手数料です。

3款1項国庫負担金は、収入済額が前年度対比1.1%減で5億5,451万8,199円となり、介護給付費負担金です。312ページをごらんください。2項国庫補助金は、1目調整交付金が2億515万2,000円、2目地域支援事業交付金が5,693万3,090円、3目介護保険事業費補助金が69万5,000円、4目保険者機能強化推進交付金が466万円、5目介護保険災害臨時特例補助金が16万5,000円で、2項合計で、前年度対比7.8%増で2億6,760万5,090円となりました。

313ページをごらんください。4款1項支払基金交付金は、1目介護給付費交付金が7億9,343万559円、2目地域支援事業支援交付金が3,110万7,709円で、1項合計で、収入済額が前年度対比1.0%減で8億2,453万8,268円となり

ました。

5款1項県負担金は、収入済額が前年度対比1.1%増で4億2,602万5,011円となり、介護給付費負担金です。2項県補助金は、前年度対比1.5%増で2,648万2,320円となり、地域支援事業交付金です。

314ページをごらんください。6款1項財産運用収入は、収入済額が前年度対比57.8%増で13万8,243円で、基金積立金利息収入です。

7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億6,358万772円で、2目地域支援事業繰入金が2,635万3,948円で、3目その他一般会計繰入金が3,278万3,407円で、4目低所得者保険料軽減繰入金が364万6,800円で、1項合計では、収入済額が前年度対比1.6%増で4億2,636万4,927円となりました。2項基金繰入金はございません。

315ページをごらんください。8款1項繰越金は、収入済額が前年度対比52.1%減で5,716万5,942円となりました。

9款1項延滞金、加算金及び過料は、収入済額が前年度対比137.7%増で4万7,724円となり、第1号被保険者の介護保険料の延滞金です。2項雑入は、収入済額が前年度対比10.1%増で1,039万2,129円となり、316ページにかけてですが、地域支援事業利用者負担金などでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

317ページをごらんください。1款総務費、1項総務管理費は、支出済額が前年度対比33.2%増で1,217万5,277円となり、2項徴収費は、支出済額が前年度対比3.8%増で113万426円となりました。318ページをごらんください。3項介護認定審査会費は、支出済額が前年度対比1.4%減で1,994万7,476円となりました。319ページをごらんください。4項趣旨普及費は、支出済額が前年度対比15.4%減で18万2,628円となりました。5項高齢者福祉推進会議費は、支

出済額が前年度対比67.8%減で12万7,500円となりました。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費は、支出済額が前年度対比1.1%増で26億7,799万7,303円となり、要介護認定者を対象とした介護サービス等給付費でございます。320ページをごらんください。2項介護予防サービス等諸費は、支出済額が前年度対比4.5%増で5,201万1,418円となり、要支援認定者を対象とした介護予防サービス等給付費でございます。321ページをごらんください。3項その他諸費は、支出済額が前年度対比1.7%増で271万3,100円となり、審査支払手数料でございます。4項高額介護サービス等費は、支出済額が前年度対比3.8%増で4,868万3,922円となり、利用者負担が著しく高額になった場合の負担を軽減する保険給付でございます。322ページをごらんください。5項高額医療合算介護サービス等費は、支出済額が前年度対比1.0%減で671万2,380円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものでございます。6項市町村特別給付費はございません。7項特定入所者介護サービス等費は、支出済額が前年度対比0.4%減で1億2,097万3,392円となり、施設サービスの利用時の居住費や食費負担等について、低所得者の軽減分を補填するための給付でございます。

323ページをごらんください。3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費は、支出済額が前年度対比16.4%減で6,656万8,873円となり、要支援1、要支援2または同程度の高齢者を支援する事業でございます。325ページをごらんください。2項一般介護予防事業費は、支出済額が前年度対比22.1%増で5,100万5,493円となり、一般高齢者を対象とした事業でございます。326ページをごらんください。3項包括的支援事業・任意事業費は、支出済額が前年度対比7.5%増で6,701万1,337円、

高齢者とその家族、関係機関の総合相談事業でございます。ページ飛びまして、330ページをごらんください。4項その他諸費は、支出済額が前年度対比18.1%減で12万8,090円となり、審査支払手数料でございます。

4款基金積立金、1項基金積立金は13万8,243円で、介護給付費準備基金の利子分の積立金でございます。

5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金は、支出済額が前年度対比72.6%増で5,080万9,547円となりました。

331ページをごらんください。6款予備費支出はございませんでした。

以上が平成30年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いを申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の平成30年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

佐原勝博建設課長。

○佐原勝博建設課長 平成30年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。

48ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比846万5,839円増の4,366万7,181円となり、調定額と同様になってございます。

49ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は前年度対比846万5,839円増の4,366万7,181円となりました。予算現額に対する執行率は98.3%となっております。

50ページをお開き願います。歳入歳出差引残額は、ゼロ円となっております。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。349ページをお開き願います。歳入につきましては、1款1項1目宅地売払収入は4,361万6,000円で、分譲9区画分の土地売払収入で

ございます。

2款1項1目利子及び配当金は181円で、基金運用利子でございます。

3款1項1目宅地開発基金繰入金は、5万1,000円でございます。

350ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。1款1項1目宅地開発総務管理費につきましては3,099万8,072円で、宅地分譲事業に要した費用といたしまして、報償費、役務費、委託料、工事請負費、宅地開発基金積立金、一般会計繰出金でございます。

2款1項1目元金につきましては1,260万円で、長期債償還元金でございます。2款1項2目利子につきましては6万9,109円で、長期債利子になってございます。

以上、平成30年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

認第2号 平成30年度長井市水道事業会計決算認定について

議案第91号 平成30年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○浅野敏明委員長 次に、認第2号 平成30年度長井市水道事業会計決算認定について及び議案第91号 平成30年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての2件について。

蒲生浩美上下水道課長。

○蒲生浩美上下水道課長 認第2号 平成30年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の377ページ、左端に水道1ページがあります。水道1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げます。最初に、決算

の報告書からご説明申し上げます。こちらは、税込みの記載でございます。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は7億2,295万6,150円となりました。支出の第1款水道事業費用の決算額は、5億8,794万6,946円となっております。

水道の2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入の決算額は1億3,231万120円で、水道の3ページをごらんください。支出につきましては、第1款資本的支出の決算額は4億6,773万1,948円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億3,542万1,828円につきましては、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,347万804円、過年度分損益勘定留保資金7,171万3,552円、当年度分の損益勘定留保資金1億5,023万7,472円、利益剰余金1億円をもって補填させていただきました。

水道の4ページをお開き願います。損益計算書により、経営状況についてご説明申し上げます。なお、後ほど、収益費用明細書にて補足して説明申し上げます。こちらからは、消費税抜きの金額になります。

営業収益につきましては、給水収益からその他営業収益まで合計して6億2,735万2,908円で、前年度対比1.9%の増となっております。加金は減少しましたが、収益の根幹となる給水収益につきましては、有収水量の増加により2.7%の増となりました。営業費用につきましては、浄水及び配給水費から資産減耗費まで合わせて4億9,555万5,362円で、前年度に比べ2.7%の増となっております。浄水及び配給水費、業務及び総係費の増加が主な要因となっております。その結果、営業収益から営業費用を差し引いた営業利益でございますが、前年度対比93万8,774円、0.7%減の1億3,179万

7,546円となったところでございます。

水道の5ページをごらんいただきたいと思っております。営業外収益につきましては、長期前受金戻入益の増収などにより、前年度対比2.3%増となり、営業外費用につきましては、支払利息の減少により8%の減となりました。その結果、経常利益につきましては、前年度対比697万4,887円、7.6%増の9,849万6,425円となりました。さらに特別利益、特別損失を合わせた当年度純利益につきましては、前年度より738万503円、8.2%増の9,765万7,665円となり、黒字決算で終了することができたところでございます。また、前年度の繰越利益剰余金を合わせた当年度未処分利益剰余金につきましては、1億7,748万6,439円となったところでございます。

次に、水道の6ページをお開き願いたいと思っております。剰余金計算書について説明させていただきます。こちらは、資本金及び剰余金の当年度変動額による当年度末残高計算表となっております。本年度は、利益剰余金から建設改良積立金を取り崩したことにより、資本金が増額してございます。また、未処分利益剰余金は、当年度純利益を加えたものが年度末の残高となります。資本合計につきましては、当年度純利益分増額し、23億8,585万7,958円となったところでございます。

水道の7ページにつきましては、利益剰余金処分計算書の案でございますが、後ほど議案で説明させていただきます。

水道の8ページをお開き願いたいと思っております。貸借対照表により、財産の状況につきましてご説明申し上げます。資産の部につきましては、固定資産では、減価償却などにより既償却相当分が減額されたことなどから、前年度対比1億109万2,641円減の64億633万8,863円となりました。

水道の9ページでございます。流動資産につきましては、現金及び預金の増加等により、前

年度対比2,758万8,283円増の7億2,671万6,364円となり、資産合計では前年度対比7,350万4,358円、1%減の71億3,305万5,227円となりました。

負債の部でございますが、固定負債につきましては、企業債残高の減少により、前年度対比1億4,014万8,449円減の32億6,755万8,963円、また、流動負債につきましては、その他未払金の増加によりまして、前年度対比1,117万569円増の3億3,939万4,836円となりました。

水道10ページをお開き願います。繰延収益につきましては、前年度から4,218万4,141円減の11億4,024万3,470円となり、負債の合計は前年度対比1億7,116万2,023円減の47億4,719万7,269円となりました。

資本の部におきましては、資本金が1億円増額し、8億6,398万8,238円、資本剰余金は前年度から変動がございません。利益剰余金につきましては、建設改良積立金の取り崩し等により、前年度と比較し234万2,335円の減となり、資本合計では当年度純利益分増額し、23億8,585万7,958円となったところでございます。

なお、資産合計と負債資本合計は、同額の71億3,305万5,227円で一致いたしております。

ページを飛びまして、水道の35ページをお開き願いたいと思っております。こちらは、キャッシュフロー計算書でございます。こちらのキャッシュフロー計算書につきましては、1会計期間における資金収支の状況をあらわすもので、損益計算書と貸借対照表をつなぐというような意味合いを持っておりまして、平成26年度から添付を義務づけられております。

業務活動によるキャッシュフローでは、水道料金収入、浄水費用、業務及び総係費等の営業活動によりまして3億4,404万4,156円を生み出しております。投資活動によるキャッシュフローでは、建設改良費、工事負担金収入等の投資活動で1億8,659万4,925円を使っております。

財務活動のキャッシュフローでは、企業債の借り入れ、企業債の償還等で1億3,531万1,635円を使用したところでございます。その結果、期首の平成30年4月1日時点での資金残高6億7,922万2,642円から平成30年度中に2,213万7,596円増加し、平成30年度末の資金残高は7億136万238円となりました。この金額につきましては、貸借対照表の流動資産中の現金、預金に相当するものでございます。

続きまして、水道の36ページをお開き願います。収益費用明細書について、損益計算書に補足してご説明申し上げます。1款1項営業収益は、2目の加入金の内訳でございしますが、備考欄に記載のとおり、新規加入81件、口径変更が24件となっております。4目その他営業収益は、各種手数料、一般会計からの負担金、下水道、農業集落排水処理施設使用料の収納業務の委託料収入などでございます。

37ページの2項営業外収益の主なものとしたしましては、受取利息やペットボトル水販売収益、当年度償却分の長期前受金戻入益などでございます。

次に、費用でございしますが、水道38ページをお開き願います。1款1項1目浄水及び配給水費につきましては、職員2名分の人件費のほか、上水道施設運転業務等の委託料、修繕費、動力費が主なものとなっておりますが、白川橋添架送水管の漏水修繕や動力費の上昇等により、前年度より15.7%の増となっております。水道40ページをお開き願います。3目業務及び総係費につきましては、職員4名分の人件費と定時補助職員等の賃金、電算関係の委託料、負担金等が主なものとなっております。こちらは、前年度対比15.5%の増となっております。水道の41ページをごらんいただきたいと思います。増加の主な要因でございしますが、新電算システムの移行に伴いまして、置賜広域行政事務組合電算共同処理事業費分担金に30年度は導入

初期費用が加算されたことによるものなどでございます。4目の減価償却費は、建物、構築物、機械装置等の減価償却となっております。5目の資産減耗費につきましては、機械装置、配水管、量水器などの固定資産除却費となっております。

42ページをお開き願います。2項の営業外費用につきましては、企業債などの支払利息及び雑支出となっております。

3項1目過年度損益修正損につきましては、当期水道料金の精算還付金でございします。

43ページをごらん願います。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。初めに、収入でございしますが、1款1項企業債は、配水施設整備事業債となっております。前年度対比867%の増と、大幅に増加してございます。主な要因につきましては、前年度は道路改良工事等に伴う布設可能な管路が少なかったために、支出の建設改良費が大幅に減少したのに対し、今年度は、道路改良工事に伴う管路の布設替工事や老朽管更新工事に加え、耐用年数を大幅に経過した機械設備等の更新を行ったことによるものでございます。

2項の分担金及び負担金は、消火栓2基の設置工事に伴う一般会計の負担金でございします。

支出でございしますが、第1款1項建設改良費につきましては、1目事務費は、職員2名分の人件費等でございします。水道44ページをお開き願います。2目の配水施設整備費につきましては、管路布設替等の工事請負費などでございします。3目資産購入費につきましては、平山浄水場の自家発電設備等、機械設備購入費並びに量水器の購入費用となっております。

なお、工事の内容、資産購入の内容につきましては、水道15ページから18ページにその概要を記載してございします。ごらんいただきたいと思います。

次に、2項企業債償還金につきましては、記

載のとおりとなっております。

以上、水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第91号 平成30年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

決算書の382ページ、水道の6ページになります。並びに、水道の7ページの剰余金処分計算書案のところをお開き願いたいと思います。処分内容でございますが、先ほど決算の概要で説明させていただきましたが、平成30年度の未処分利益剰余金1億7,748万6,439円のうち1億円を減債積立金として積み立て、残余の7,748万6,439円を令和元年度へ繰り越したすものでございます。これによりまして、減債積立金を現在の2億5,730万円から3億5,730万円に増額いたすものでございます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 ここで昼食のため、暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時50分 休憩

午後1時00分 再開

○浅野敏明委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

平成30年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○浅野敏明委員長 午前で決算の概要説明が完了しましたので、これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

勝見英一朗委員の総括質疑

○浅野敏明委員長 順位1番、議席番号2番、勝見英一朗委員。

○2番 勝見英一朗委員 それでは、総括質疑をさせていただきます。

1期目の勝見です。本来ならば、先輩の委員が質問された後で進行等を見ながらというのがよかったのかもしれませんが、一番最初になりましたので、もしこの質疑の中で適正を欠いた場合には、委員長におかれましては適宜ご指摘いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、早速質問させていただきます。平成30年度の決算に関して、2点質問いたします。1つは、コミュニティ・スクールに関して、2つ目は、国語力の増進事業についてであります。

まず、最初のコミュニティ・スクールに関する事業について質問いたします。

30年度の決算で、この事業に関し、コミュニティ・スクール推進体制構築事業に57万7,000円、小学校と中学校のコミュニティ・スクール推進事業にそれぞれ17万円と6万円が支出をされております。この金額自体は、コミュニティ・スクールという学校運営の根幹にかかわる制度設計の事業である割には、決して多くないと感じているのですが、それは、本市が平成27年度に致芳小学校にコミュニティ・スクールを導入してから順次導入校を広め、平成30年度に市内8校全てに導入されたという経緯から、平成30年度は運営経費はそれほど必要としなかったという事情があるんだろうというふうに想像しております。